

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	西淀川区
学 校 名	大阪市立福小学校
学校長名	立野岡 克

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定的一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立福小学校では、第6学年 16名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

○平均正答率は、国語では市平均を2p、全国平均を3.8P下回った。算数では市平均、全国平均を5p下回った。理科では市平均と同じで、全国平均を2.1P下回った。

○平均無解答率は、国語では市平均を3.1p、全国平均を2.6p上回った。算数では市平均を1p、全国平均を1.3p下回った。理科では、市平均を0.2p、全国平均を0.4p上回った。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

〔知識及び技能〕にあたる(1)「言葉の特徴や使い方に関する事項」の項目では、市平均・全国平均を上回ったが、その他の内容は市平均・全国平均を下回った。特に〔思考力、判断力、表現力等〕にあたる「書くこと」の項目では市平均より6.1p、全国平均より8.9p下回り、課題が大きいと考えられる。記述式の問題に弱い傾向が見られ、日常の学習において書く活動に重点を置いた指導の必要がある。

〔算数〕

「数と計算」の領域では、市平均・全国平均を上回ったが、その他の領域は市平均・全国平均を下回った。特に「図形」の領域では市平均より15.5p、全国平均より15.3p下回った。「学力向上支援チーム事業（重点支援）」の学びコラボレーターやサポーターが授業中の支援や放課後学習の実施等を行っているが、基礎基本の定着に支援が必要である。引き続き重点校の取組みを継続し学力向上を目指す。

〔理科〕

「エネルギー」の領域では、市平均を5p・全国平均を1p上回ったが、その他の領域は市平均・全国平均を下回った。特に「地球」の領域では市平均より6.2p、全国平均より9.1p下回り、課題が大きいと考えられる。

質問調査より

「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」項目では、最も肯定的に答えた児童の割合は87.5%で、全国の割合の81.4%より6.1p上回っている。また、「自分には、よいところがあると思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目でも肯定的な回答をしている。多くの児童が自己肯定感・自己有用感を持っていると思われる。

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の項目においても肯定的回答が多く、各教科や活動において児童が互いの考えや思いを交流し学び合える学習形態を指導者が工夫している成果が表れている。

今後の取組(アクションプラン)

国語においては「書くこと」に重点を置き、日常の学習において書く活動を多く取り入れた指導を進める。自分の考えを形成し、友達と考えを交流することで、表現活動を通して思考を深めることができるような指導法の工夫を図る。

算数においては、基礎基本の定着を図るために、デジタルドリルを活用することで、個別最適な学びを保障し、タブレット端末を効率的に利用する。

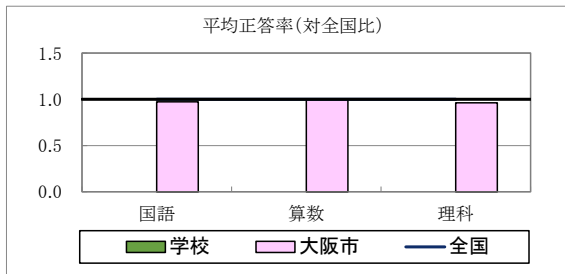
理科においては、専科指導を推進し、児童の興味関心をもって取り組むことができる指導法の工夫を図る。

今年度のような児童質問紙の結果が継続するように、小規模校の特長を活かし、たてわり班活動を中心とした児童会活動を推進する。

【 全体の概要 】

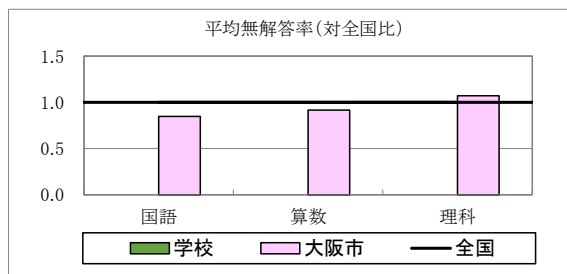
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校			
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



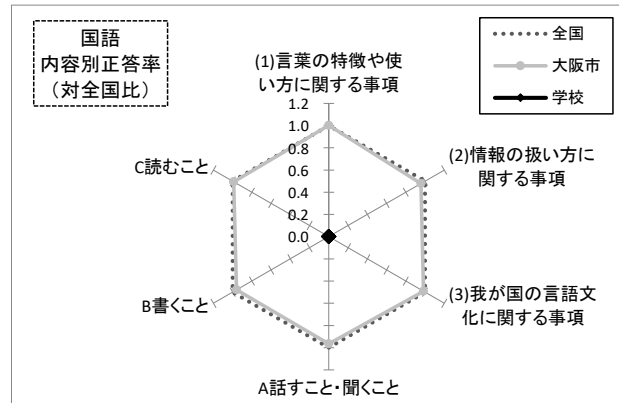
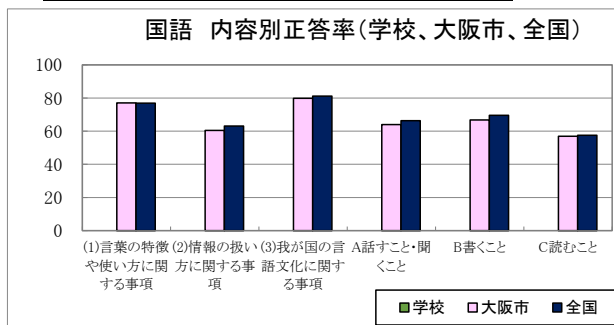
平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校			
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



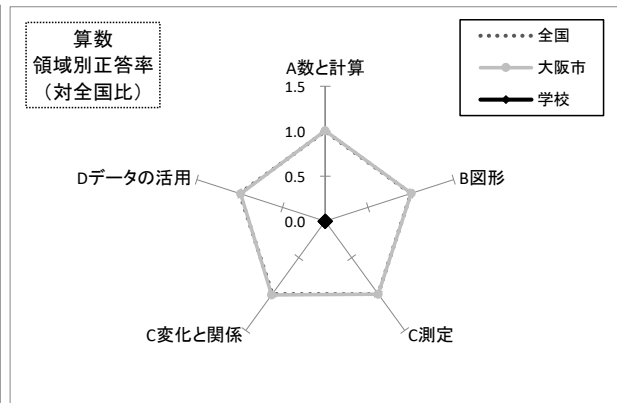
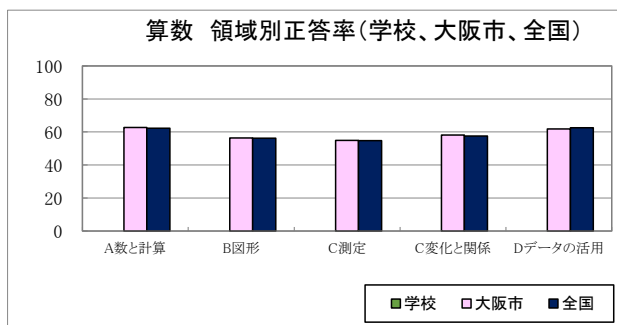
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2		77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1		60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1		79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3		64.0	66.3
B 書くこと	3		66.7	69.5
C 読むこと	4		56.9	57.5



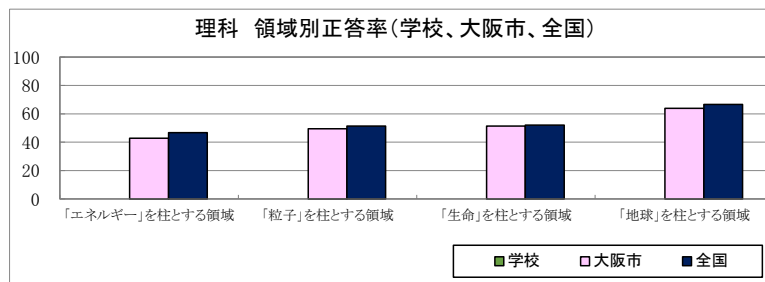
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8		62.7	62.3
B 図形	4		56.4	56.2
C 測定	2		54.9	54.8
C 変化と関係	3		58.2	57.5
D データの活用	5		61.9	62.6

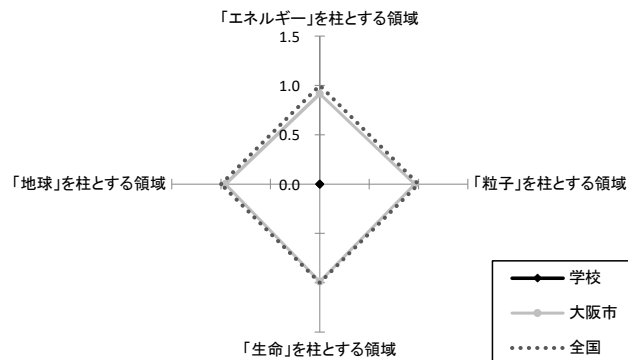


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

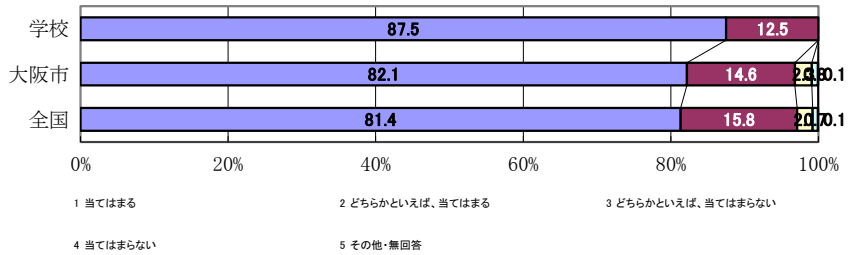
質問番号

質問事項

9

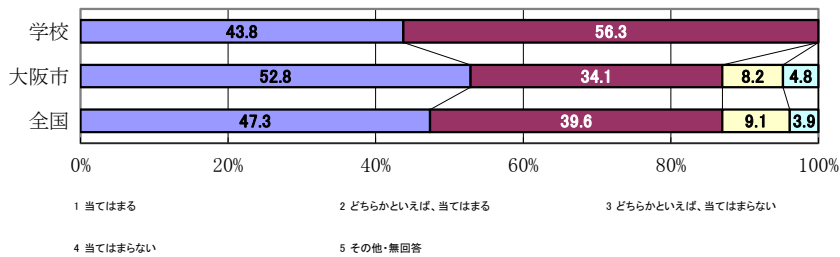
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



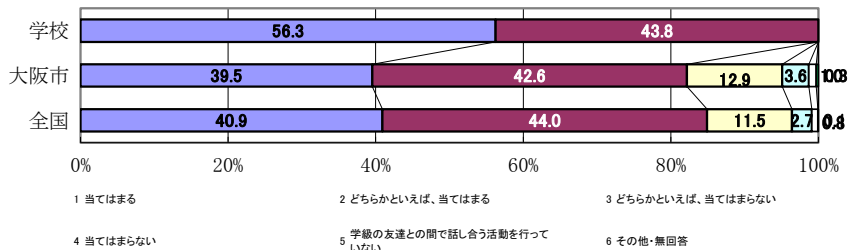
5

自分には、よいところがあると思いますか



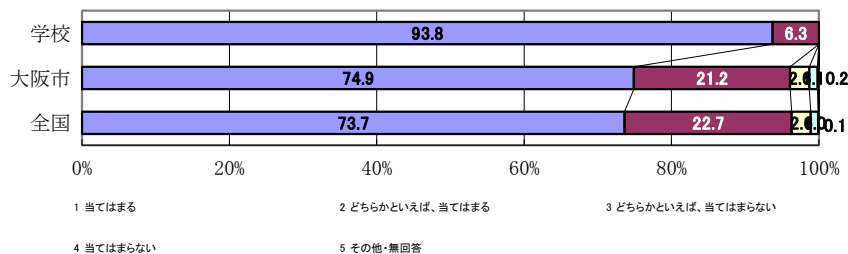
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



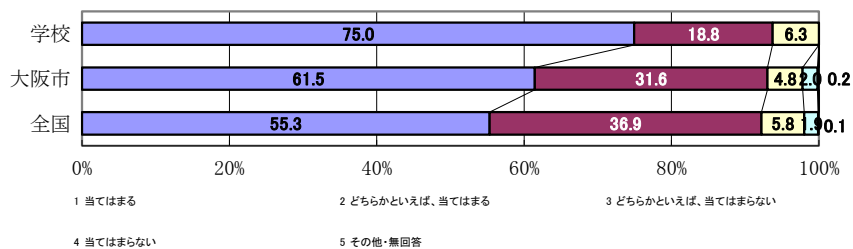
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



学校質問より

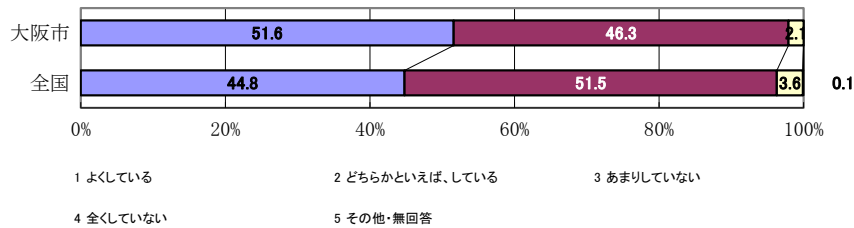
質問番号

質問事項

17

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

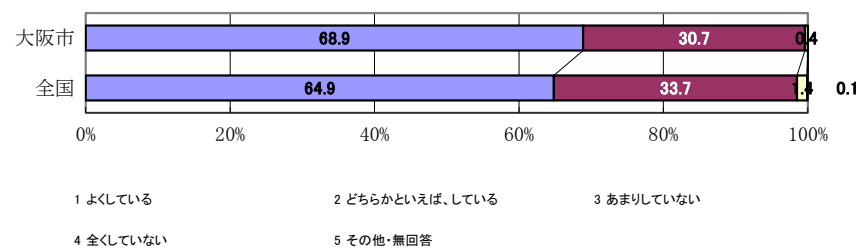
学校 「よくしている」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

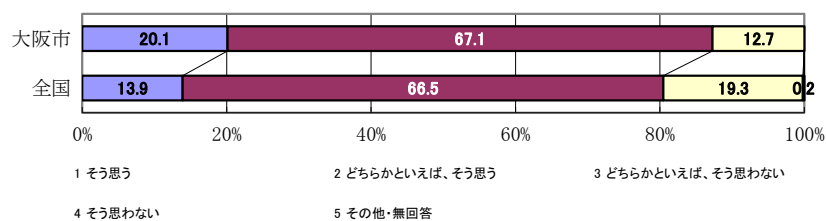
学校 「よくしている」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

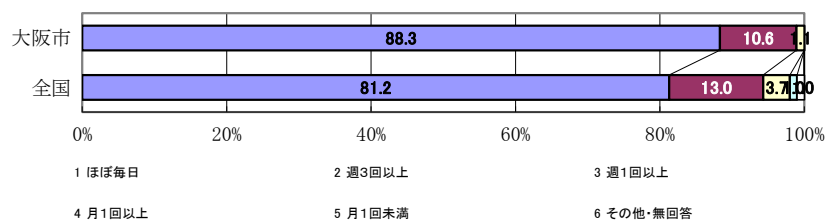
学校 「そう思う」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

学校 「十分に取り入れている」を選択

